

# 日美ミニ通信

何気ない違い!?  
「インク」と「インキ」の微妙な違い

ちょっとお得な言葉の使い方講座

【今月のメイン記事】

- インクとインキの使い方
- 詰まり解消法—会話—
- 紙類不用品引き取ります
- うさぎ追いしかの山で



12年後に  
またお会い  
しましょう

「今日はインキローラーの交換をします」「むむ、今朝は寒いからインクが固いなあ」など、普段当たり前のように使っている言葉ですが、時折、「インク」と「インキ」の違いとは何だろうと思うことがあります。印刷会社に入社するまでは「インキ」という言葉さえ聞いたことがありませんでしたが、現在は毎日使います。使い分けています……不思議です。

ちょっと気になり、調べてみました。

広辞苑では、「インク (ink) とはオランダ語の (inkt) から派生した言葉で、筆記または印刷に用いる有色の液体」とあります。インクは派生語のようです。

また、ドイツ語学者関口存男氏の著書「関口・新ドイツ語の基礎」中では、ドイツ語発音「c h」の読み方の説明例として、「インクよりもインキが正しい」と記されています。

著書では少し難しい説明が続きますが、要するに、イン (in) と言った口で、その後、わざわざ口をそばめてク (k) というのはおかしいとしています。イン (in) の後には、キ (k) と続く方が口の形的に自然だというのです。

なるほど、確かに一理ありますね。インクよりもインキの方が言い易い……気がします。たぶん。

結局、「どちらをどのように使うのか」

が問題ですが、答えは単純です。主に商業印刷の場では「インキ」を使い、個人使用では「インク」と呼びます。

例えば、「印刷インキ」や「インキローラー」などは前者に当たり、「インクジェットプリンター」や「ボールペンのインク」などは後者に当てはまります。

昔からの呼び方と今の呼び方のようなものです。「ハンケチ」と言っていたものが「ハンカチ」に変化したというように。

私個人としては、「インキ」と呼ぶ方が印刷業界の通っぽくて格好良いと思います。皆さんはどうちらを使いますか?



商品生産部 下田 航

## 行き詰った時の解消法—会話— 会って話せばアイディアざくざく♪

お客様との会話は、良いアイディアの宝庫だと思っています。例えば、お話を進めていく過程で、「こんなことしたら面白いじゃないか?」「こんな仕様はどうだろう?」

といったやり取りを行いながら、商品の体裁を決めていきます。ここで新しい案がしばしば生まれたり、心と解決策に行き着いたりするわけです。まさに会話さまざまです。

その会話の中で生まれた最近のヒット作のひとつが、UVラミネートのラメ加工です。今回はスイングPOP(※右写真)にて採用頂きました。

会話の中で“可愛い”がテーマとなり、

打ち合わせ当初は、「ティアラ部分をシルバーで箔押ししたら?」と話していました。しかしサンプルを見て頂いたり、話し合いを続けるうちに「UVラミネートのラメ加工で」と決定しました。

仕上がりは想像していたよりも可愛く、お客様と私、お互いに満足のいく商品となりました。

自分一人で考えていると同じ方向から商品を見る傾向がありますが、お客様のお話は私にまったく違ったものの見方を教えてくれる非常に大切な時間です。会話の大切さを改めて実感しました。

お客様サポート部 春原 寛之

ラメ加工  
箔押し  
スイングPOP



# 「紙類の不要品はございませんか？」 引き取りサービスで思わぬ発見！

引き取り  
無料

先日、弊社の「不要物引き取りサービス」をご利用頂きました件で、東京のお客様から面白いお話を聞きしましたので、ご紹介します。今回のお客様とは、かれこれ7年のお付き合いをさせて頂いており、毎年、不要になつた冊子やカタログ類をダンボールに入れて送つて下さいます。

今年も例年通り荷物（不要物）を送つて頂きました……が、確認してみますといつもより量が明らかに多いのです。何か良からぬことでも起きたのではと思い、私は慌ててお電話致しました。

すると、「別にそんな訳じゃないですよ！」とお客様のお声。少しホッとしました。その

後に、こんな深く良いお話を聞きしました。

「今回、大量にいろいろなものを廃棄しました。そうしたら、不思議と新しい仕事が沢山入つて来たんですよね。不思議ですよね」

身近なお客様からこのようなお話を聞きすると、その時々の流れと言いますか、靈的な何かと言いますか、今流行のパワースポットのパワーにも似たものが、本当にあるんだなあと感じずにはいられませんでした。

なかなか物を捨てられない私ですが、今回の話を真似して取り組んでみたいと思います。また、皆様の中でも冊子やチラシ等、紙の不要物がございましたら、ご相談ください。

お客様サポート部 宮澤 篤

## 1年間『日美ミニ通信』を ありがとうございました

ご協力頂いたアンケートの結果は、随時活用させて頂きます。乞うご期待ください!!



4月25日発行の日美ミニ通信28号より、各号にテーマを設け記事をおこすように変更しました。よりお役立て・お楽しみ頂けたでしょうか?

振り返りますと、  
28号「加工」、  
29号「改善・改良」、  
30号「記念・節目」、  
31号「楽しさ・面白さ」、  
32号「変化・変わる」、  
33号「好き・嫌い」、  
34号「強い・弱い」、  
35号「アンケートお応え」、  
そして今号の「会話」です。



印刷業界には専門的な用語・知識も多く、敬遠しがちな文章もあったと思います。それでもご愛読頂いた方には、感謝感激雨あられです。本当にありがとうございます。今後も37号・38号…50号・100号と続く日美ミニ通信ですが、末永くお付き合い頂けたらと心から思います。どうぞよろしくお願い致します。  
(社員一同)

## お客様の声

いつもありがとうございます。  
担当の宮澤課長には、小さな案件でも  
丁寧な対応をして顶いております。  
今後は是非、DM関係お任せ下さい。  
タイミングで連絡して下さいね。  
よろしくお願い致します。

この度は、お声を書いて頂きましてありがとうございました。これからも、大きい小さいにかかわらず、誠心誠意努めさせて頂きます。

また、DMにつきましても、良い方向へ進む様に尽力して参ります。よろしくお願ひ致します。

お届けした内容をきちんと直して、さらに良くして顶いたと思います。  
デザインがいつも素敵で、喜んで頂けます。  
今後ともよろしくお願い致します。

お客様のイメージした通りに商品が出来上がつてから何よりも満足して頂くために、日々研鑽を重ねます。こちらこそ、今後ともよろしくお願ひ致します。

## 社員ひとり語り

【今月の一言社員】  
お客様サポート部

宮澤 篤

皆様ご存じの方も多いと思いますが、今年の漢字が先日発表になりました。「辯」でした。今年一年は、この言葉を本当に強く感じました。至る所で、辯を大事にしようとして、国民全体が一体化していた気が致します。

私個人にあてはめてみると、今年の漢字は「助」でした。公私ともに、いろいろな方々に助けて頂きました。

来年は、助けて頂いた方々に恩返しする番だと思います。来年が終わった時に貢献という意味を込めた「貢」という一文字を掲げられる様、原点に戻り、様々なことに取り組める様、前を向いて進んで参ります。



## 編集後記



年末になると「終わり良ければすべて良し」という言葉が頭に浮かびます。それまでの経緯がいくら思い通りにならなかつたとしても、最後さえうまくまとまれば良しとしてしまおう、と。

ただ、見方を変えると「終わり」とはいつだろうという疑問も浮かびます。例えば、年末が1年の「終わり」としても10年先を考えたらまだ序盤であり、一生を「終わり」としてもその後に語られるもの(尊など)があります。

どこで区切りをつけるか、つけられるか。皆様の「終わり」はいつですか?

